

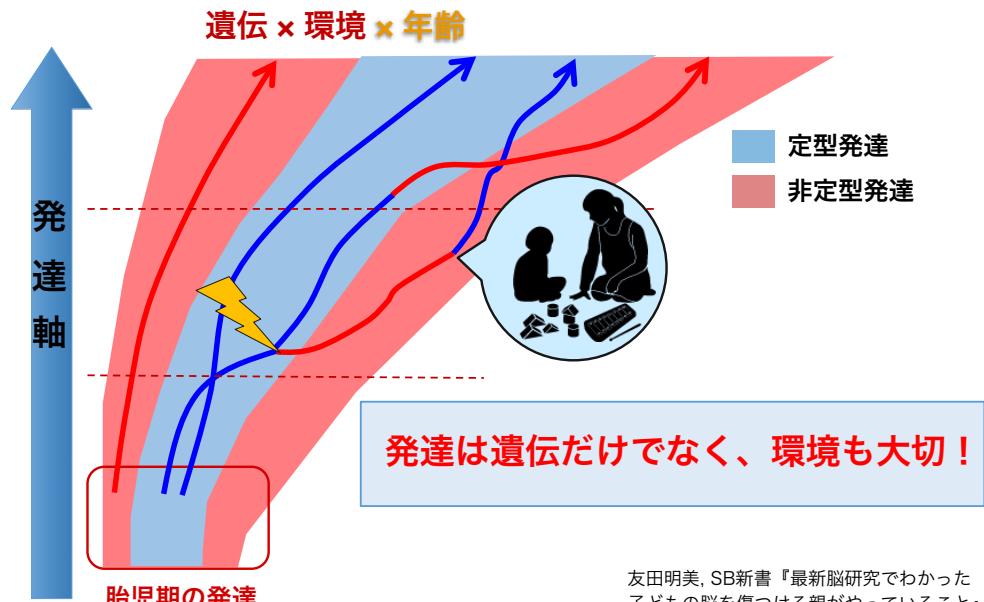
見えにくい虐待に気づく力
～マルトリートメントの理解と支援～

福井大学 子どものこころの発達研究センター
福井大学医学部附属病院 子どものこころ診療部

友田 明美



ヒトの多様な 発達軌跡（表現型）

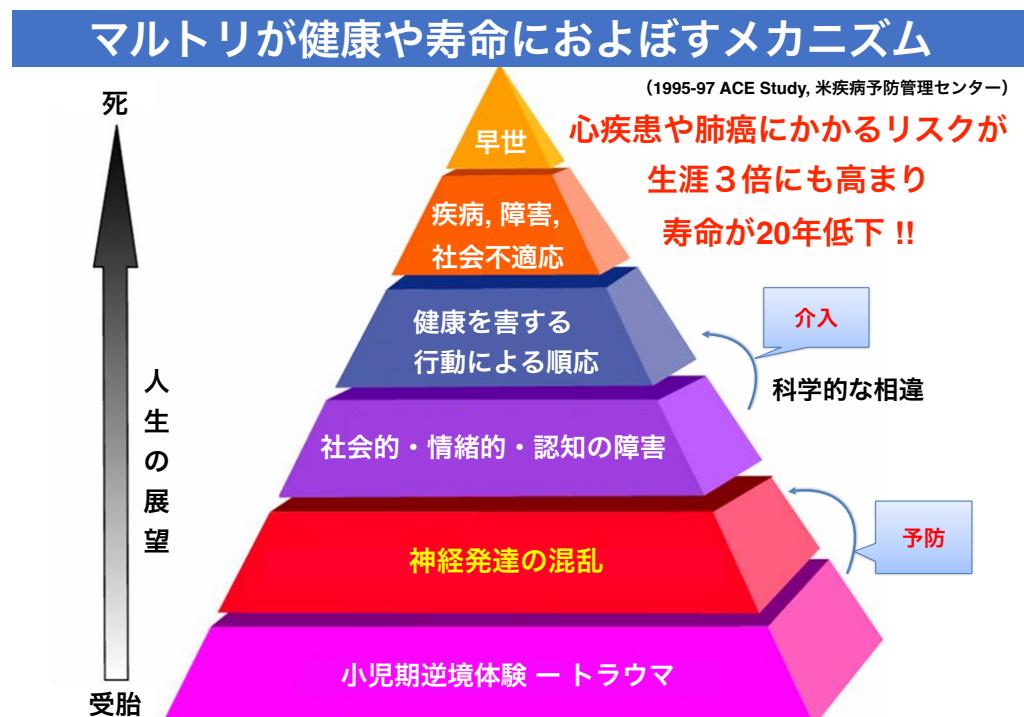


福井大学医学部附属病院 子どものこころ診療部
小児科医 5名, 児童精神科医 11名, 心理士 11名

マルトリートメント
知っていますか？

「子どもへの避けたいかかわり」

マル・トリー・メント (悪い) (あつかい)



マルトリの定義 (WHO)

“避けたい子育て”
虐待とは言い切れない
大人から子どもに対する
よくない関わり

身体的虐待
性的虐待
心理的虐待
ネグレクト

- 全成人の4分の1が小児期に身体的虐待を受けたと報告
- 女性の5人に1人、男性の13人に1人が小児期に性的虐待を受けたと報告
- 生涯にわたり個人の身体・精神の健康を損ない、国経済発展と社会成長を遅らせる



Child maltreatment

Fact sheet N°150
Updated December 2014

こんなこともマルトリです

- ① 子どもを一人で留守番させる
▼アメリカの多くの州では小学生以下の子どもを一人で留守番させるとネグレクトとして法律で罰せられ、場合によっては逮捕される

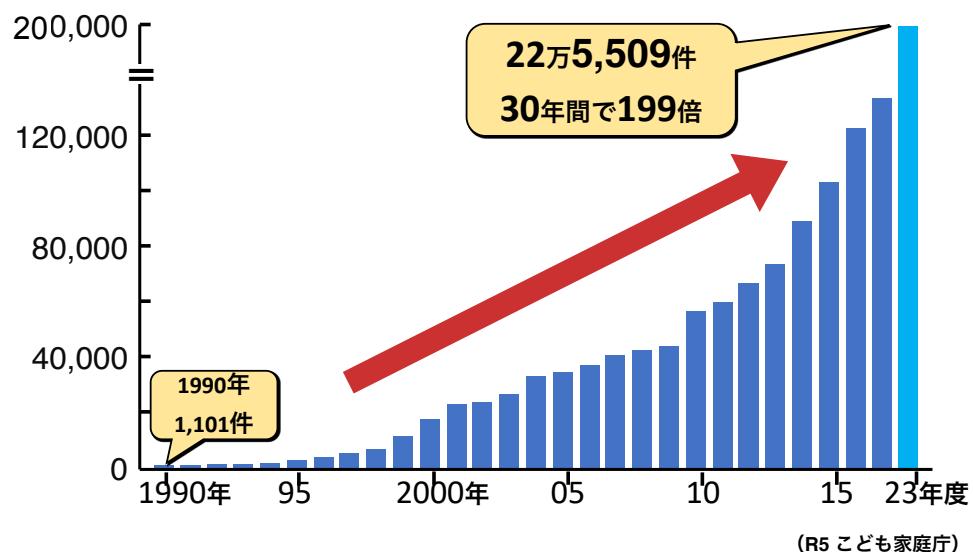


こんなこともマルトリです

- お風呂からでてきた父親が裸でウロウロしている
- ▼アメリカでは親子が一緒にお風呂に入るには性的虐待とされている
- ▼子どもが嫌がっているのに、頻繁にこれを行うことで
視覚野に障害が出ることがわかっています

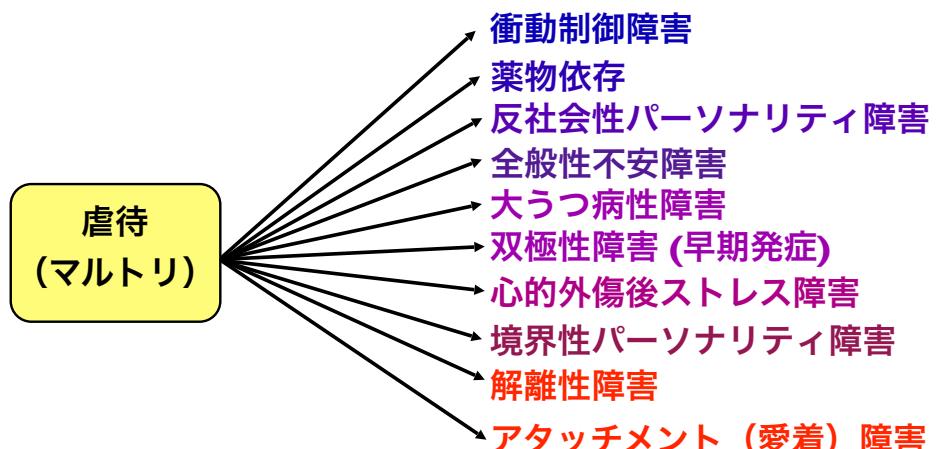


全国の児童相談所のマルトリ対応件数



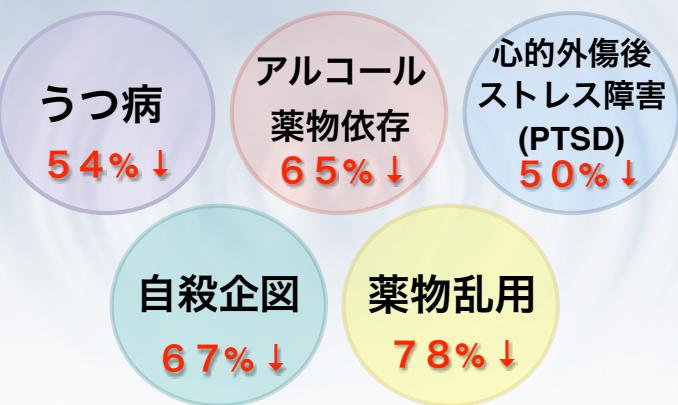
マルトリ過去最多 (子どもへの避けたいかわり)

マルトリは心の病気の主な危険因子である



Dube, S.R., Felitti, V.J., Dong, M., Chapman, D.P., Giles, W.H., and Anda, R.F. (2003) Childhood abuse, neglect, and household dysfunction and the risk of illicit drug use: the adverse childhood experiences study. Pediatrics 111, 564-572

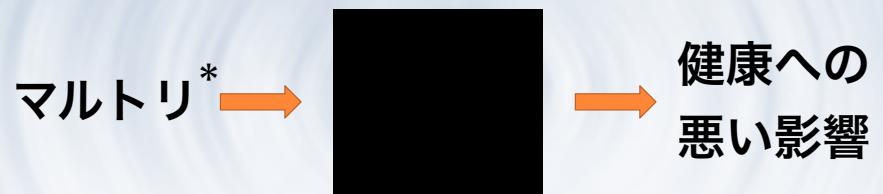
マルトリと成長後のトラブル



医療費の削減にもつながる

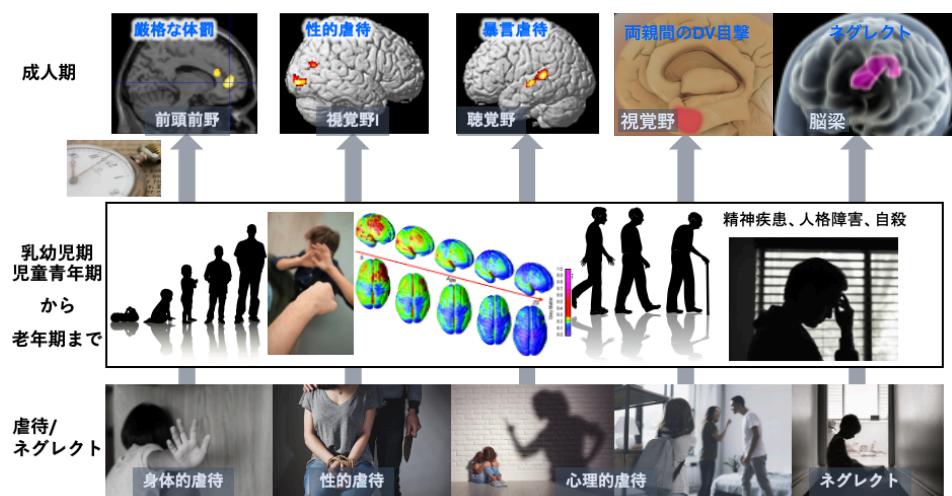
(Dube 2003; Chapman 2004; Anda 2006)

トラウマは脳にどのような影響を与えるのか？



* 小児期のマルトリートメント (マルトリ)

マルトリが脳、機能、愛着に及ぼす神経生物学的影響



Tomoda et al. *Euro Arch Psych Clin Neuro* 2024

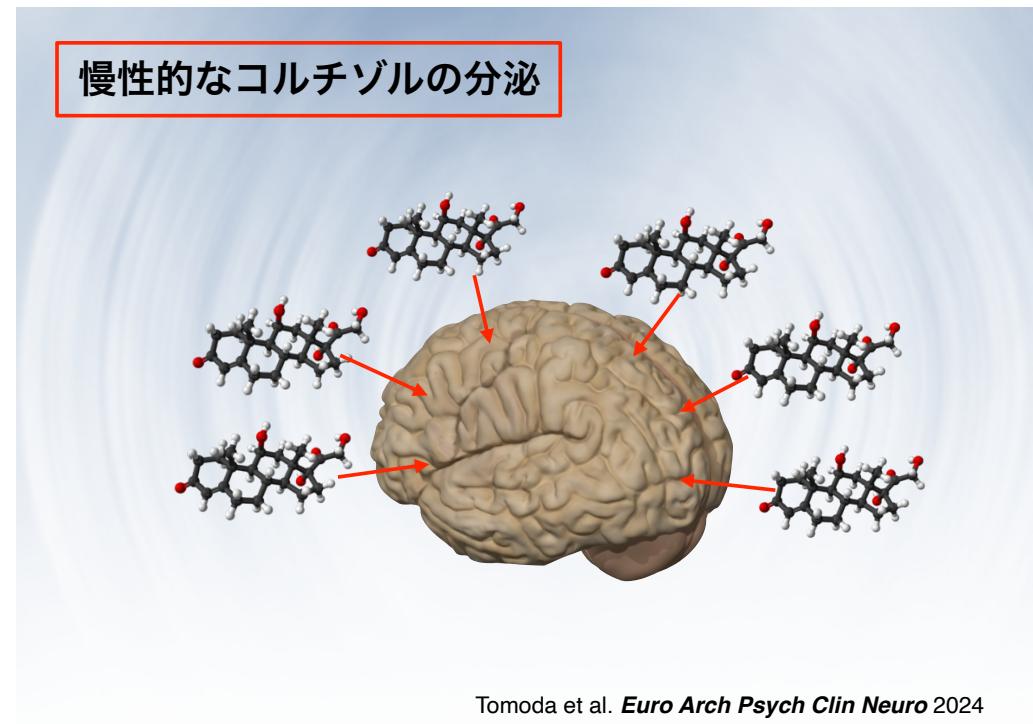
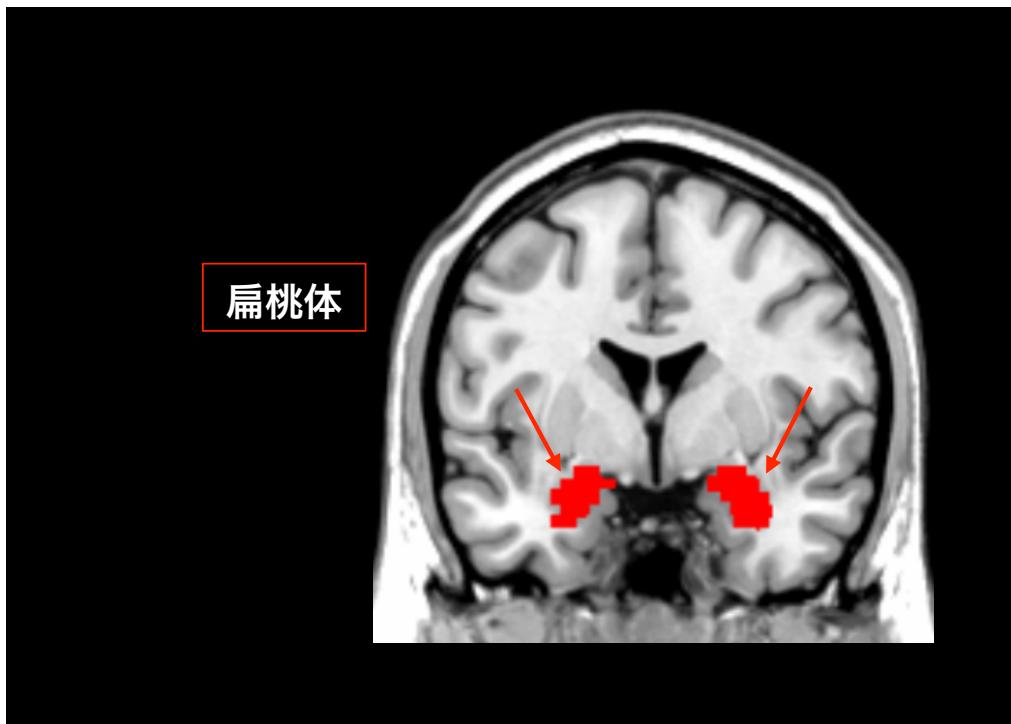
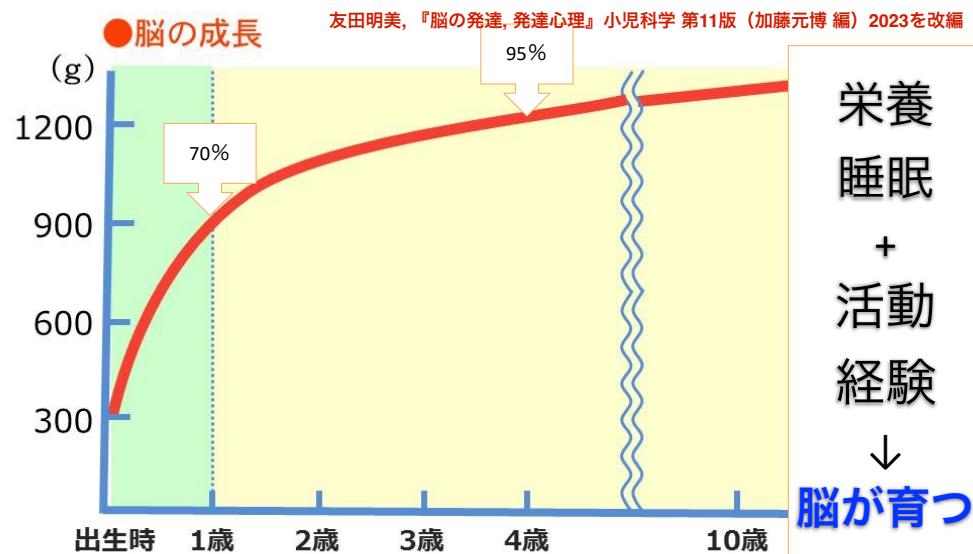
▷ マルトリを受けることで、どのように脳が傷つき、その傷がどのような影響をもたらすのか。その脳の傷つきが、どのように依存症などのこころの疾患へと影響するのか？

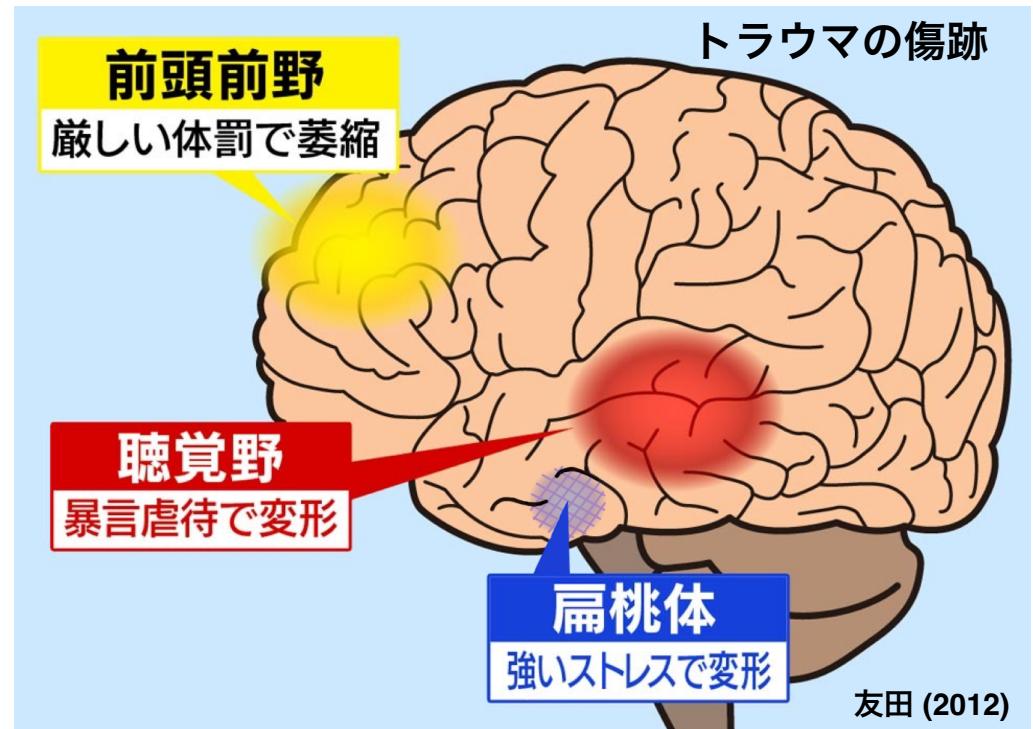
▷ どういった支援をすればこのプロセスを防ぐことができるのか？

▷ 傷ついた脳でも回復可能か？そのために、どのような支援をすればよいか？

乳幼児期に脳が育つ

脳は1歳で大人の約70%に成長！





- こんな行為も心理的マルトリにあたる
- 子どもの苦手なことが気になり「何をやってもダメ」と言ってしまう
 - 感情的になり、大声で怒鳴る
 - 子どもの前で激しい夫婦喧嘩をする
 - 子どもに対し、夫（妻）への文句を話したり、言わせたりする
 - 子どもをきょうだいと比較して批判・叱責する
 - 子どもに、きょうだいや祖父母などに対する暴言を聞かせる
 - 子どもの交友関係に口を出し、「あの子と仲良くするのはやめなさい」
 - 進学先や就職先を、子どもの意見を聞かずに親が決めてしまう
 - 子どもが失敗した際に責めたり、失敗した理由を問い合わせたりする
 - 子どもの持ち物を一方的に取り上げたり、壊したりする



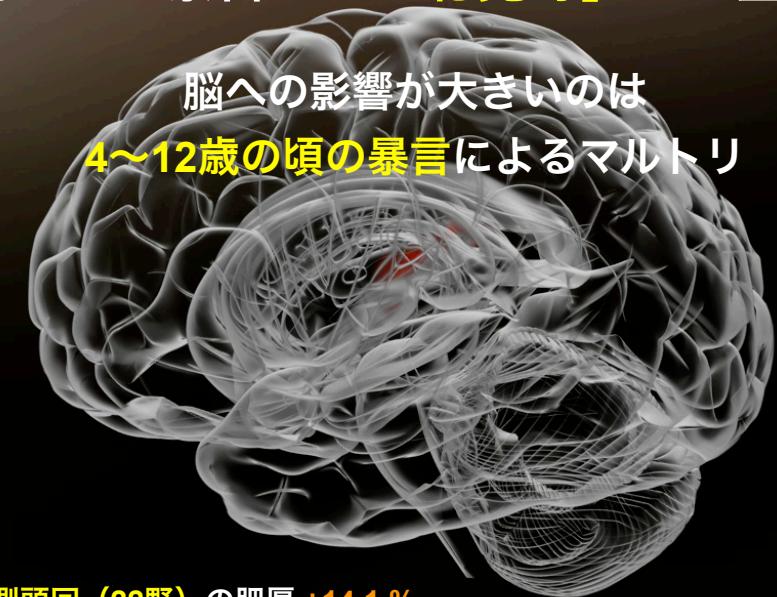
友田明美、SB新書『最新脳研究でわかった
子どもの脳を傷つける親がやっていること』

"ことばの暴力"による虐待を侮らないで！



親からの暴言——「聴覚野」への重荷

脳への影響が大きいのは
4~12歳の頃の暴言によるマルトリ



左上側頭回（22野）の肥厚 +14.1 %

Tomoda et al., Neuroimage (2011)

小児期の体罰が脳の発達に与える影響



1,455名の中からスクリーニングされた
被厳格体罰者 21名と健常者 17名

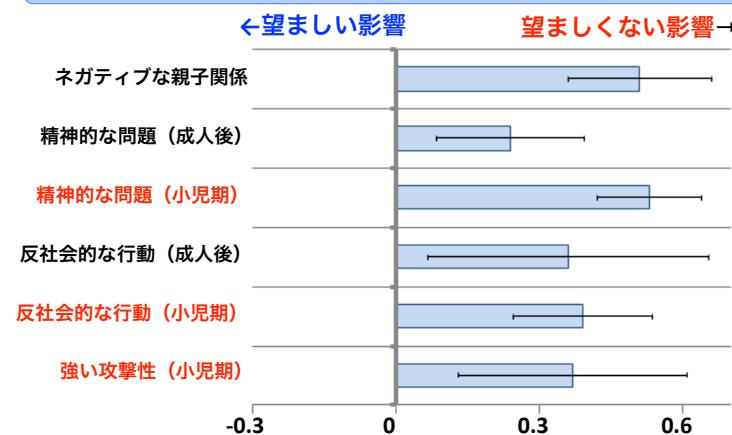
Tomoda et al., Neuroimage (2009)

体罰は百害あって一利なし！

子どもに望ましい影響などもたらしません

(厚労省HPより)

「親による体罰」の影響



出典 : Gershoff ET, Grogan-kaylor A, J Fam Psychol. 2016

(延べ111件の調査の結果を統合し、約16万人分の子どものデータを分析し直した研究)

体罰は百害あって一利なし！ 愛の鞭ゼロ作戦

体罰は

- “子どもに暴力を教えることになる”
- “子どもに傷みや恐怖心を与える”
- “しばしばエスカレートする”
- “他児にも心に深いダメージを与える”
- “取り返しのつかない身体的外傷に至る”



Tomoda et al. Neuroimage (2009)

子どもを健やかに育むために
～愛の鞭ゼロ作戦～

子育てをしていると、
子どもが言うことを聞いてくれなくて、
イライラすることもあります。
つい、叩いたり殴ったりしたくなることもありますよね。
一見、体罰や暴言には効果があるように見えますが、
恐怖により子どもをコントロールしているだけで、
なぜ叱られたか子どもが理解できていないこともあります。
最初は「愛の鞭」のつもりでも、いつの間にか
「虐待」と呼ぶべき行為になってしまうことがあります。
体罰や暴言になると「愛の鞭」は壊れてしまいましょう。
そして、子どもの気持ちも察りながら、
みんなで前向きに育んでていきましょう。

厚労省・健やか親子21

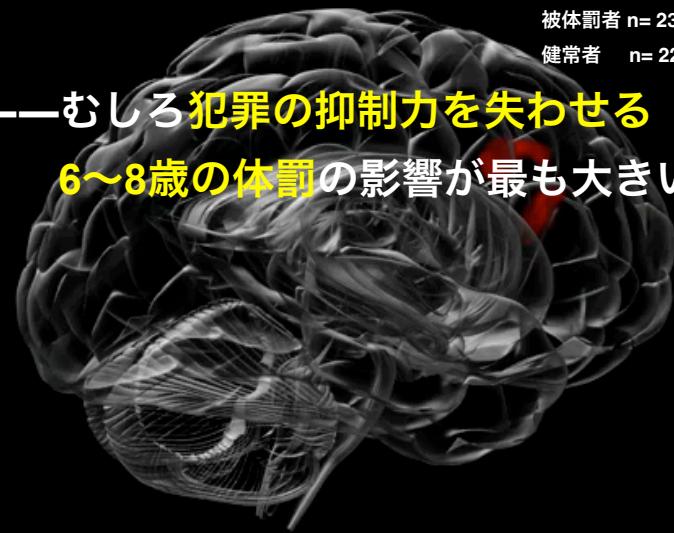
強い体罰は子どもの脳へ大きく影響する

被体罰者 n= 23 (21.7±2.2 yrs)

健常者 n= 22 (20.1±1.8 yrs)

体罰——むしろ犯罪の抑制力を失わせる

6~8歳の体罰の影響が最も大きい



内側前頭皮質(10野) の容積減少 -19.1 %

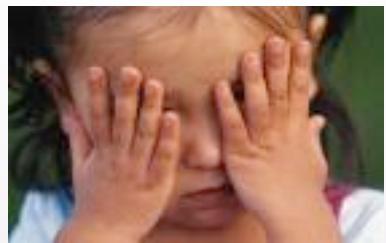
Tomoda et al. Neuroimage (2009)

子どもの視点 (4mの自分に怒られてみたら)

研究
4
4 mの大人たち
立っている大人に怒られるって、
どんな気持ち？ 仮想空間に入って
巨大な自分に怒られてみた

「もっと！ 子どもの視点」サイト
<https://kodomonoshiten.com/event/>

両親間のDVを目撃した子どもの脳発達



激しい夫婦げんか

夫婦間のDVを子どもに見聞きさせることは

マルトリ

子ども時代のDV目撃による脳への影響

被虐待者 n= 23 (19.0±1.1 yrs)
健常者 n= 14 (20.2±1.3 yrs)

11～13歳のDV目撃の影響が
最も大きい

視覚野 (18野) の容積減少 -6.1 %

Tomoda et al. PLoS One (2012)

DV家庭に育った子どもの健康

・情緒・行動的発達に深刻な影響

心的外傷後ストレス障害 (PTSD)

うつ病

不安障害

攻撃的行動

自殺企図・念慮

摂食障害・睡眠障害

認知・行動発達の遅れ



(WHO, 2010; Vuら, 2016; Wathenら, 2013;
Campbellら, 1997 ; Satyanarayanaら, 2015;
MacFarlaneら, 2003; Rahmanら, 2012)

扁桃体と視覚野が相互作用して視覚的な感情処理に関与

視覚野
→ 記憶力や学習能力の低下
扁桃体 (+ 海馬)
→ 怒りや不安

Tomoda et al. PLoS One (2012)

身体DV目撃 vs. 暴言DV目撃

Tomoda et al. PLoS One (2012)



ながら育児で脳染(のうりょう)の容積が小さくなる

健常者



ネグレクト経験者



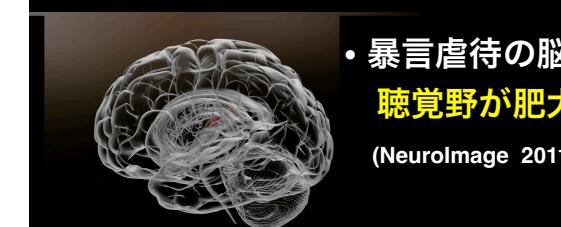
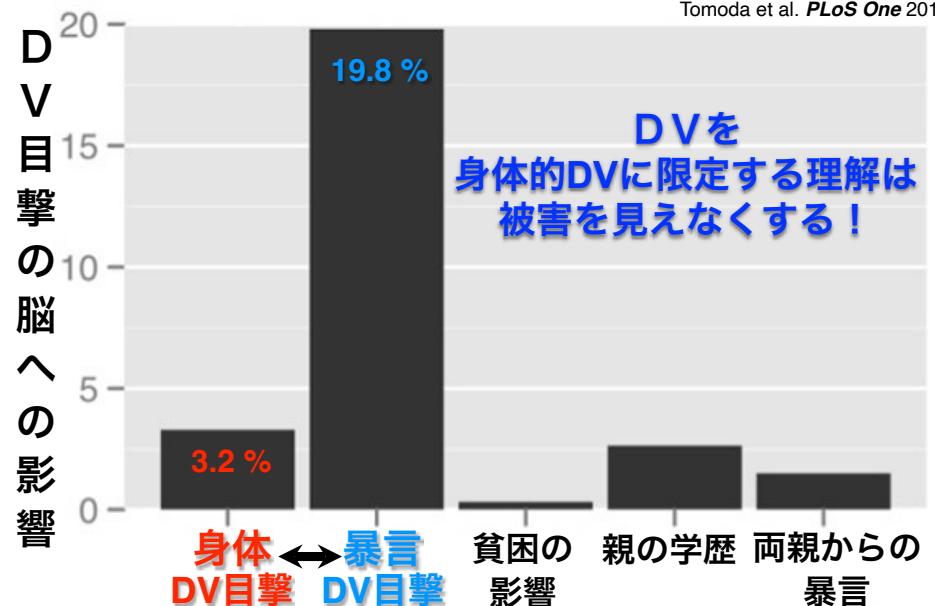
ながら育児は親子の大切なコミュニケーションの時間を減らし、

結果的に「ネグレクト」につながる可能性

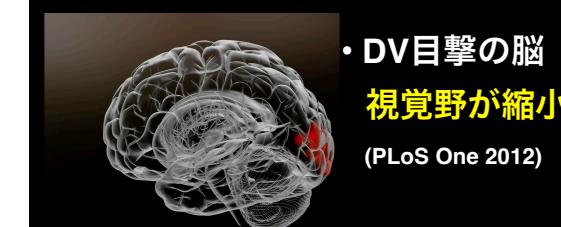
Teicher MH et al. Biol Psych (2006)
Kawata & Tomoda et al. Neuroimage (2024)
Kawata & Tomoda et al. Sci Rep (2025)

言葉によるDVのほうが深刻: 脳に刻まれる影響

Tomoda et al. PLoS One 2012



- ・暴言虐待の脳
聴覚野が肥大
(NeuroImage 2011)



- ・DV目撃の脳
視覚野が縮小
(PLoS One 2012)



- ・厳格体罰の脳
前頭前野縮小
(NeuroImage 2009)

心理的虐待も見逃してはならない



『子どもの脳を傷つける親たち』(NHK 出版)

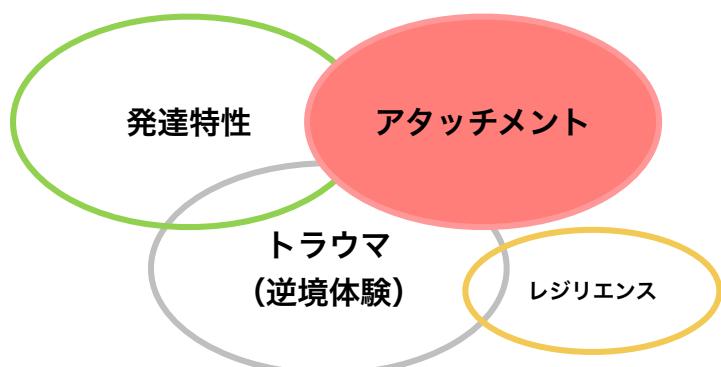
子育て困難により傷つく脳



マルトリ=子育て困難家庭からのSOS

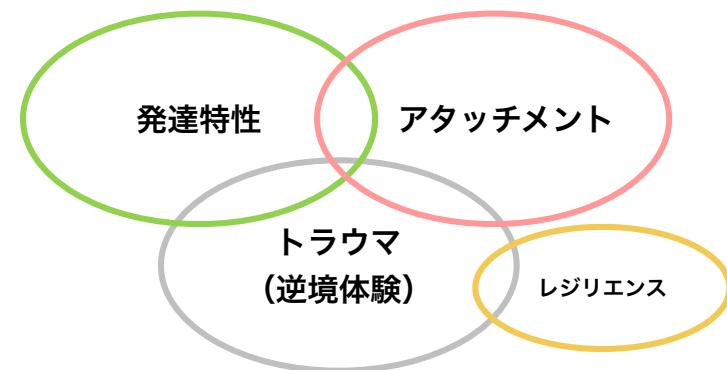
友田明美,『子どもの脳を傷つける親たち』NHK出版,2017

ヒトの発達：
資質（遺伝的な特徴）と環境（家庭・教育・社会的経験）
が相互に影響



ヒトの発達：

資質（遺伝的な特徴）と環境（家庭・教育・社会的経験）
が相互に影響

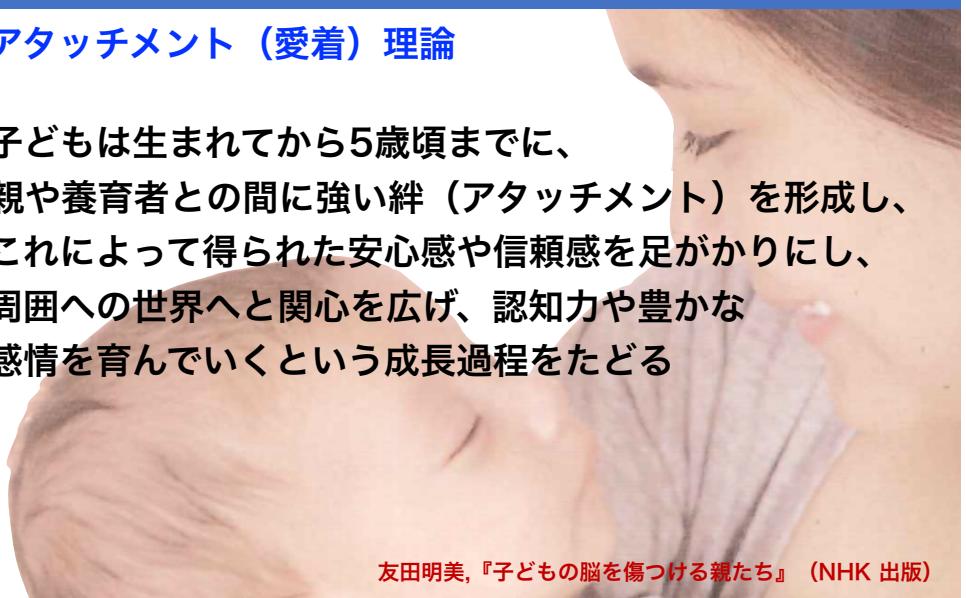


(児童精神医学とその近接領域, vol.56, No.1, p69-71 「発達障害を有する少年の処遇―少年刑務所の立場から―」を改変)

子どもの健全な発育には
特定の大人とのアタッチメント形成が不可欠

アタッチメント（愛着）理論

子どもは生まれてから5歳頃までに、
親や養育者との間に強い絆（アタッチメント）を形成し、
これによって得られた安心感や信頼感を足がかりにし、
周囲への世界へと関心を広げ、認知力や豊かな
感情を育んでいくという成長過程をたどる

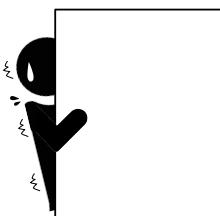


友田明美,『子どもの脳を傷つける親たち』(NHK出版)

内向きタイプのアタッチメント障害



・他人に対して無関心



・用心深い



・イライラしやすい

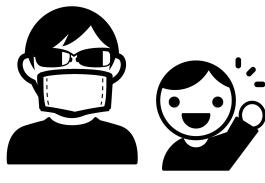
外向きタイプのアタッチメント障害



・多動



・友達とのトラブルが多い



・人見知りがない

アタッチメント障害の有病率

社会的養護を受ける子どもの19.4– 40.0%

(Lehmann 2013; Minnis 2013; Zeanah 2004)

施設や里親にあづけられた
子どもたちに多い



バウムテスト

12歳男児



11歳男児



小児期のアタッチメント障害（行動面）

- ・異常な警戒感、過食、盗食、食欲不振
- ・排便・排尿障害、年齢不相応の幼稚な行動
- ・異常に素直、頑張りすぎ、大人びた行動
- ・多動、過度の乱暴、注意をひく行動、いじめ
- ・虚言、詐欺的行動
- ・性的逸脱行動、自傷行為、自殺企図

小児期のアタッチメント障害（精神面）

- ・さまざまな発達の遅れ
- ・抑うつ・無表情・緘黙
- ・学業不振
- ・パニック・チック・気分易変
- ・見捨てられ体験による被害念慮

⌚ マルトリを受けることで、どのように脳が傷つき、その傷がどのような影響をもたらすのか。その脳の傷つきが、どのように依存症などのこころの疾患へと影響するのか？

⌚ どういった支援をすればこのプロセスを防ぐことができるのか？

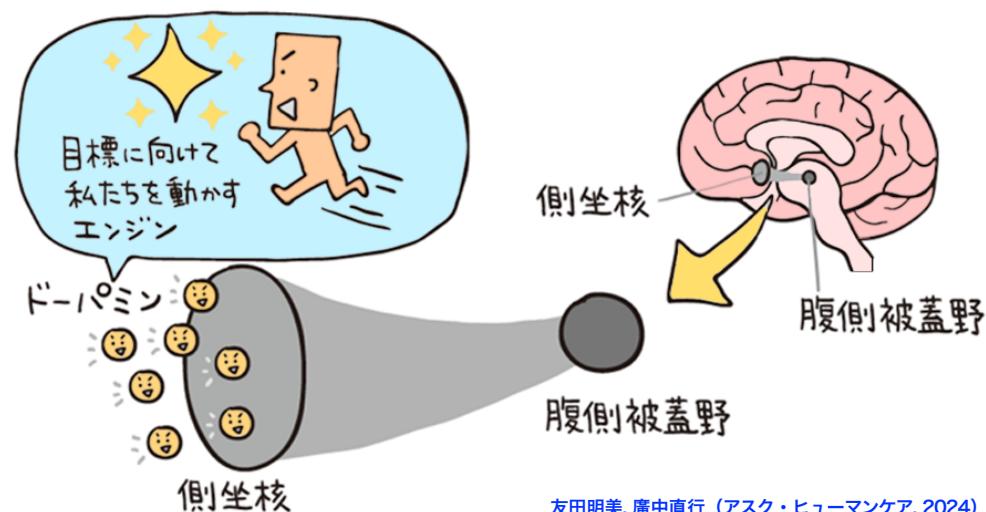
⌚ 傷ついた脳でも回復が可能か？そのために、どのような支援をすればよいか？

アタッチメント（愛着）障害とADHDの鑑別点

	愛着障害	ADHD
臨床像	不注意優勢型が多い	混合型が多い
多動のおき方	夕方からハイテンションムラがある	比較的一日中多動
対人関係のあり方	逆説的で複雑	単純で率直
薬物療法	中枢刺激剤無効 抗うつ薬と抗精神病薬有効	中枢刺激剤が最も有効
反抗挑戦性障害、素行障害への移行	非常に多い	比較的少ない
解離	注意してみれば非常に多い	見られない（あれば除外診断）

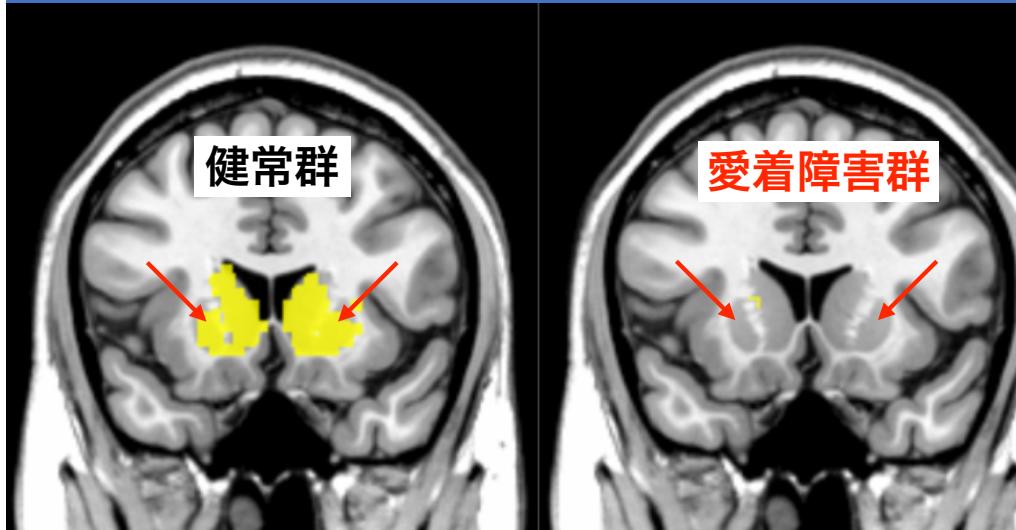
友田明美『子どもの脳を傷つける親たち』2017

ほめられたり、ご褒美を感じるときに
ドーパミンを放出する神経回路



友田明美, 廣中直行 (アスク・ヒューマンケア, 2024)
『トラウマと依存症 脳に何が起きている?』

愛着障害の子は意欲・ご褒美への脳活動が弱い



Tomoda et al. *Memory in Social Context: Brain, Mind, and Society* 2017
Takiguchi & Tomoda et al. *Front Child Adolesc Psychiatry* 2023

マルトリがもたらす報酬脳の機能不全



Tomoda et al. *Memory in Social Context: Brain, Mind, and Society* 2017
Takiguchi & Tomoda et al. *Front Child Adolesc Psychiatry* 2023

褒められるのはお金もらう気分と同じ？

食べ物やお金と同じように
”褒める”ことも
「報酬」として脳内（線条体）で処理されている

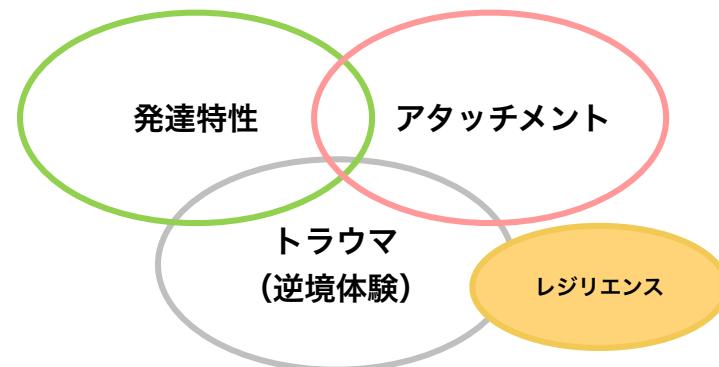
Izuma et al. *Neuron* 2008



友田明美, SB新書『最新脳研究でわかった
子どもの脳を傷つける親がやっていること』

ヒトの発達：

資質（遺伝的な特徴）と環境（家庭・教育・社会的経験）
が相互に影響

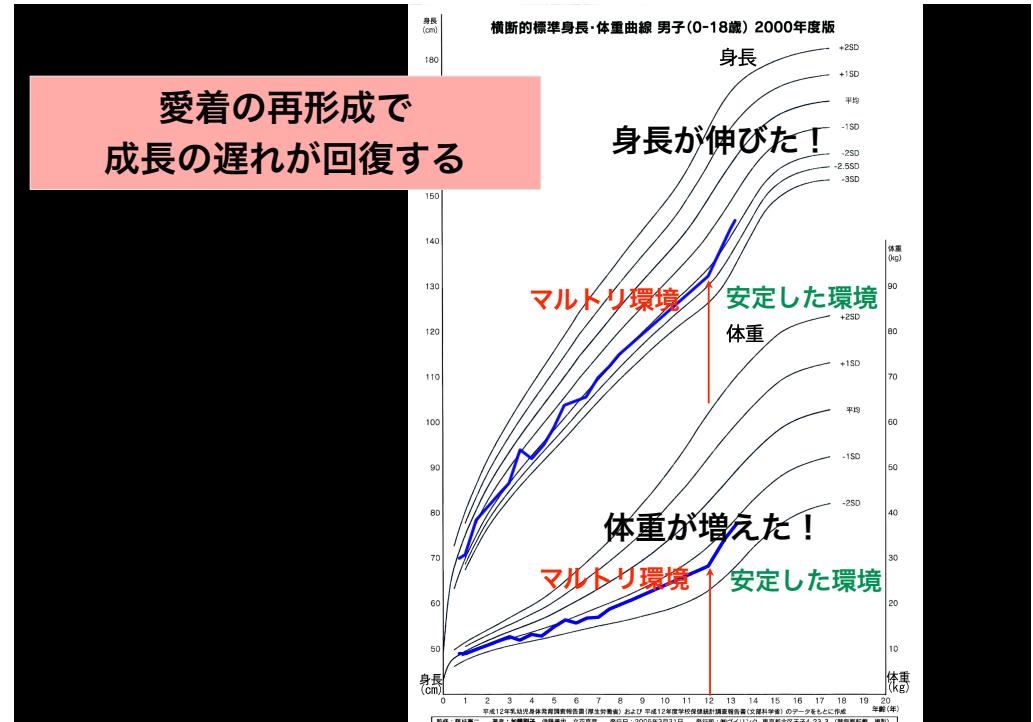
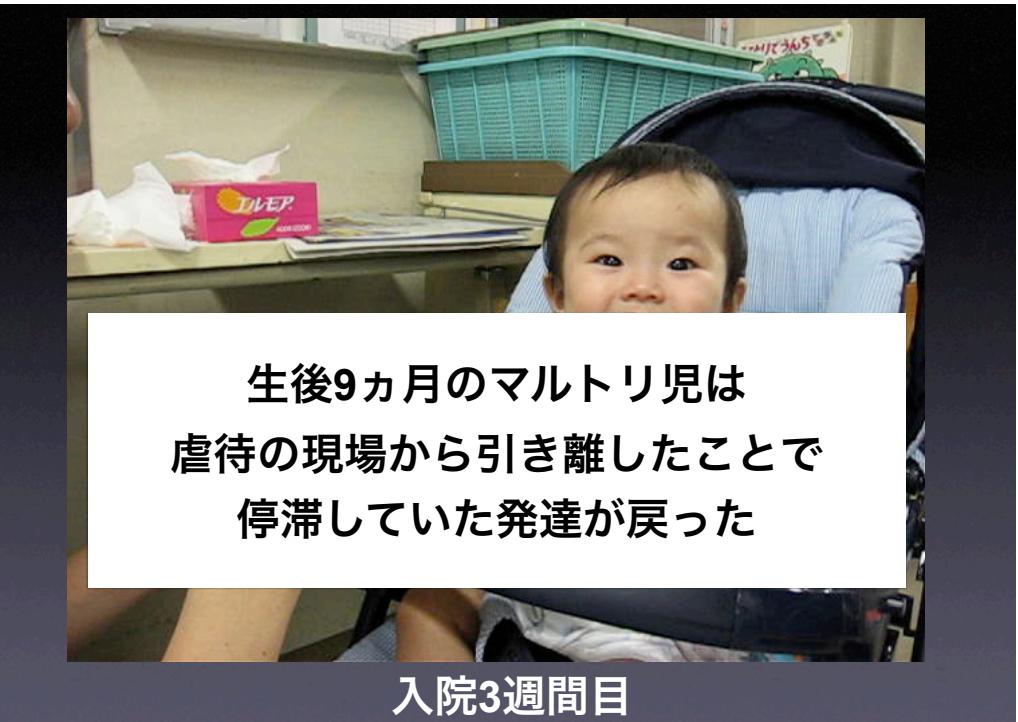


(児童精神医学とその近接領域, vol.56, No.1, p69-71 「発達障害を有する少年の処遇—少年刑務所の立場からー」を改変)

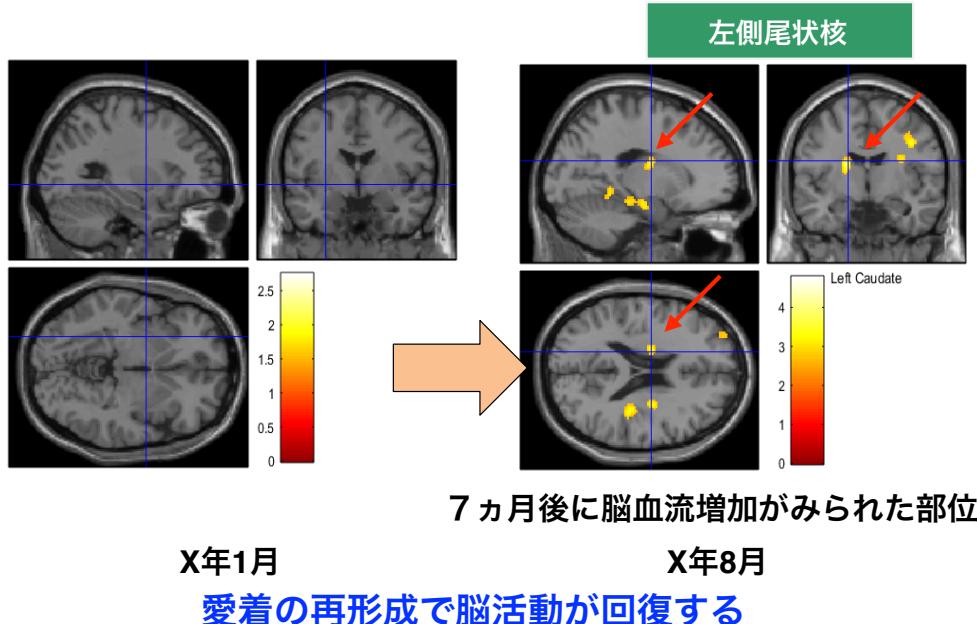


来院時（9ヶ月）
主訴：アイコンタクトがない

アタッチメント障害児
(祖母からの暴言マルトリ)



愛着障害（12歳男児）脳活動の回復（自験例）



心の免疫力（レジリエンス）の獲得「ストレス耐性」



Teicher MH et al. *Mol Psychiatry* 2022

幼少期の小さなストレスが思春期を乗りこえる力に

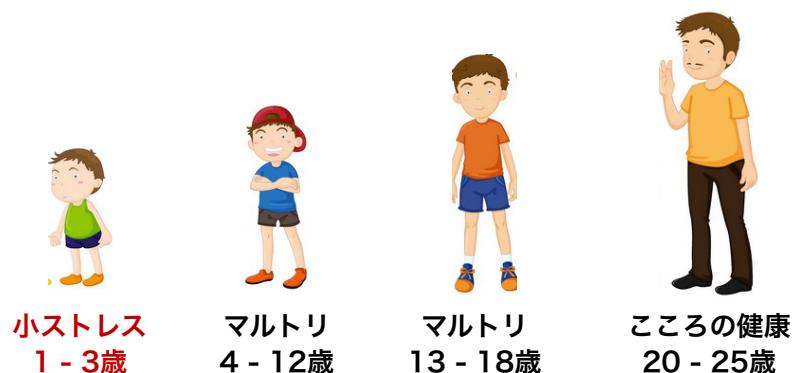
子の発達段階で**適度なストレスにさらされる**ことが、その後の発達段階でより強いストレスに遭遇したときの影響を軽くし、**回復力（レジリエンス）を高める**可能性

幼少期の適度のストレスの具体例

- ・初めての登園や発表会の緊張
- ・失敗や順番待ちの経験
- ・友達との小さなケンカなど



Teicher MH et al. *Mol Psychiatry* 2022



小ストレス
1 - 3歳

マルトリ
4 - 12歳

マルトリ
13 - 18歳

こころの健康
20 - 25歳

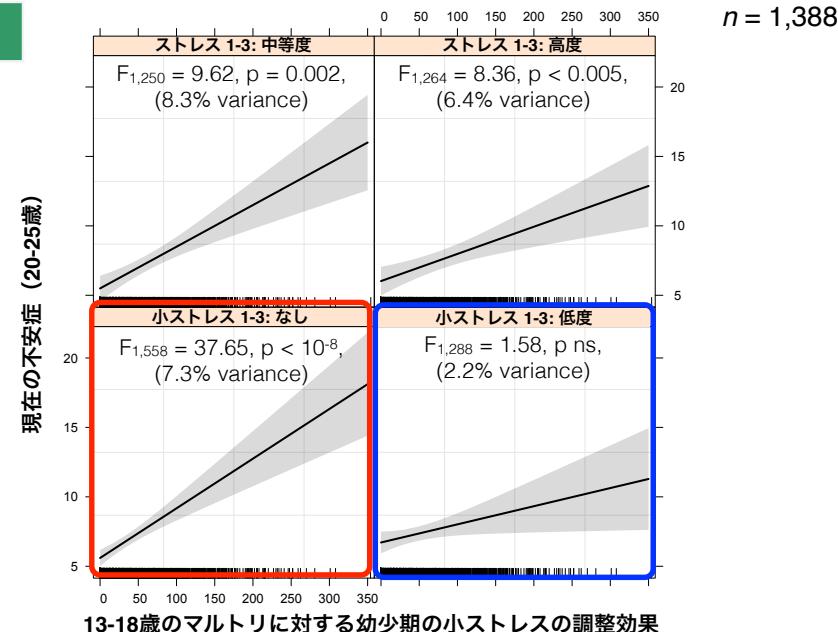
幼少期の**耐えられる小ストレス体験**が、思春期のマルトリと大人になってからの心の健康との関係をどれくらい変えるのか？

耐えられるストレスは適切な支え（親の安心感、ケア、共感など）が脳やこころの発達に長期的な害を残さず、むしろ将来の**困難に立ち向かう力（レジリエンス）**を育てる可能性

Teicher MH et al. *Mol Psychiatry* 2022

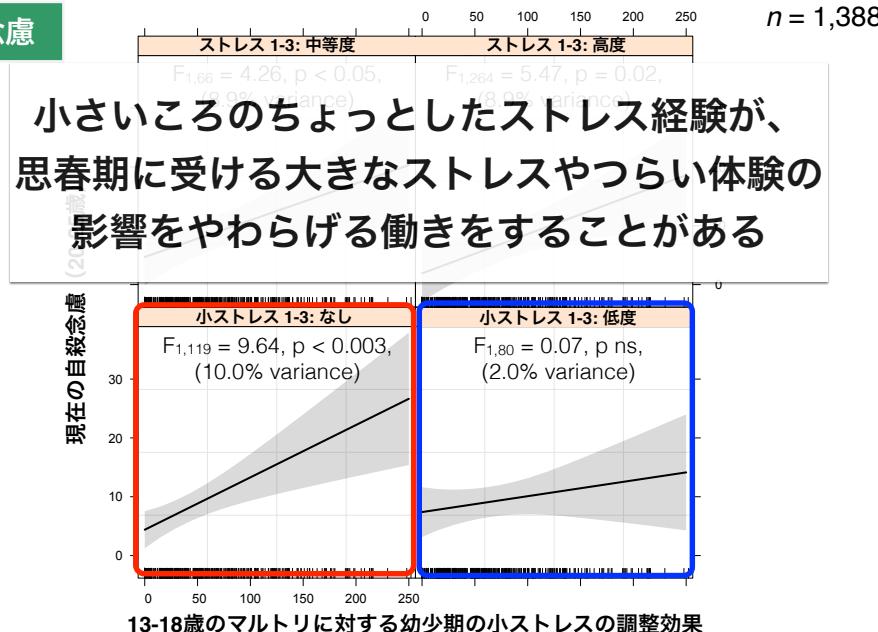
幼少期の小さなストレスが思春期を乗りこえる力に

不安症状



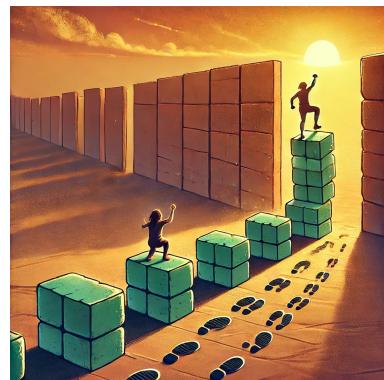
幼少期の小さなストレスが思春期を乗りこえる力に

自殺念慮



ストレス耐性の獲得

13-18歳の間に受けたマルトリ経験の総量、
20-25歳での不安、怒りや敵意、身体的症状(頭痛など)、
解離(心がふわっと離れる感じ)、自殺企図などは、
幼少期の小ストレス経験が影響を和らげる可能性

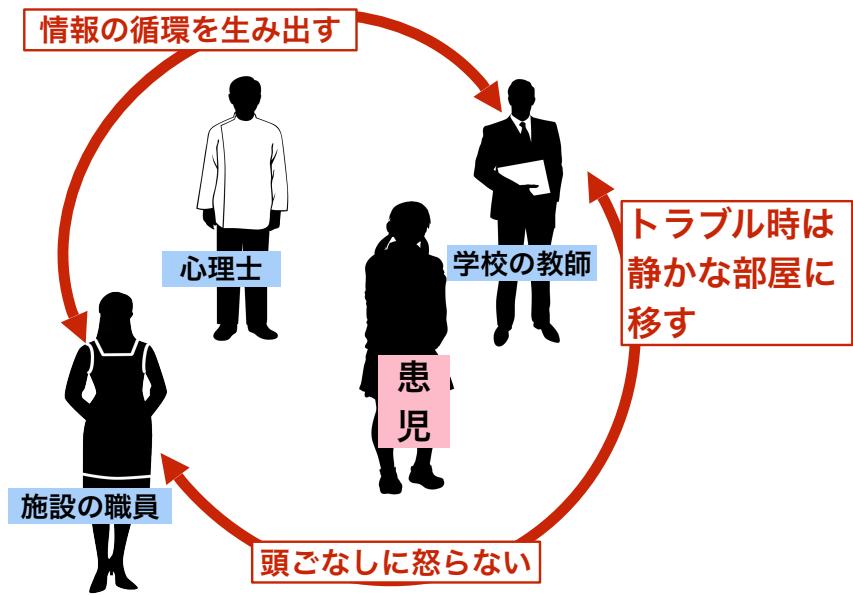


Teicher MH et al. *Mol Psychiatry* 2022

マルトリ児へのケア

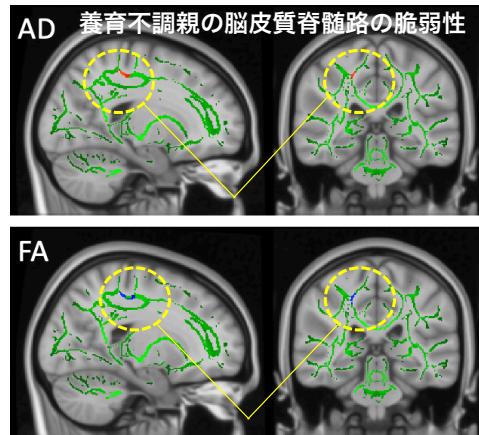
- 安心して生活できる場の確保
- 愛着の形成とその援助
- 子どもの生活・学習支援
- フラッシュバックへの対応とコントロール
- 解離に対する心理的治療

アタッチメントの再形成＝多職種連携



マルトリ親の神経生物学的基盤と世代間連鎖との関連

マルトリ親群では、右皮質脊髄路の軸方向拡散率（AD）と異方性（FA）が低下し、随意運動のコントロールが弱い可能性



AD: axial diffusivity,
FA: fractional anisotropy

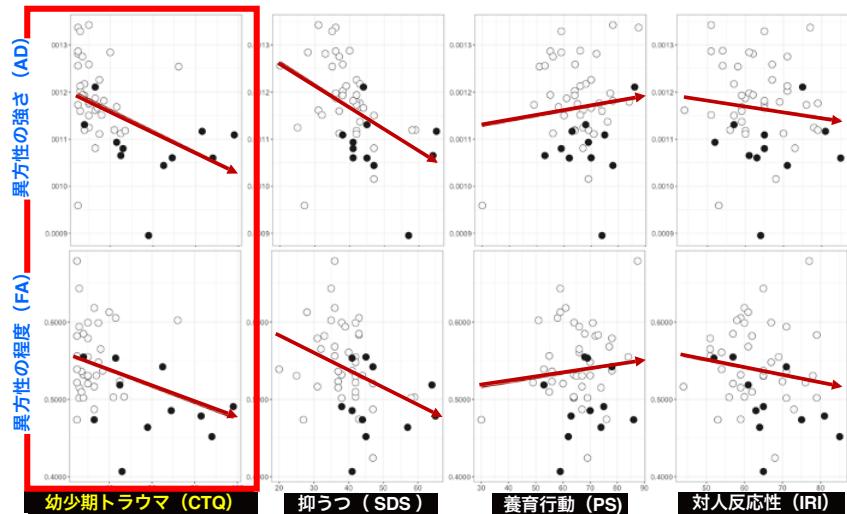
($P < 0.05$, FWE-corrected)

マルトリ親群 ($n=11$, 41.9 ± 6.7 y)
vs. 対照群 ($n=40$, 41.1 ± 4.4 y)



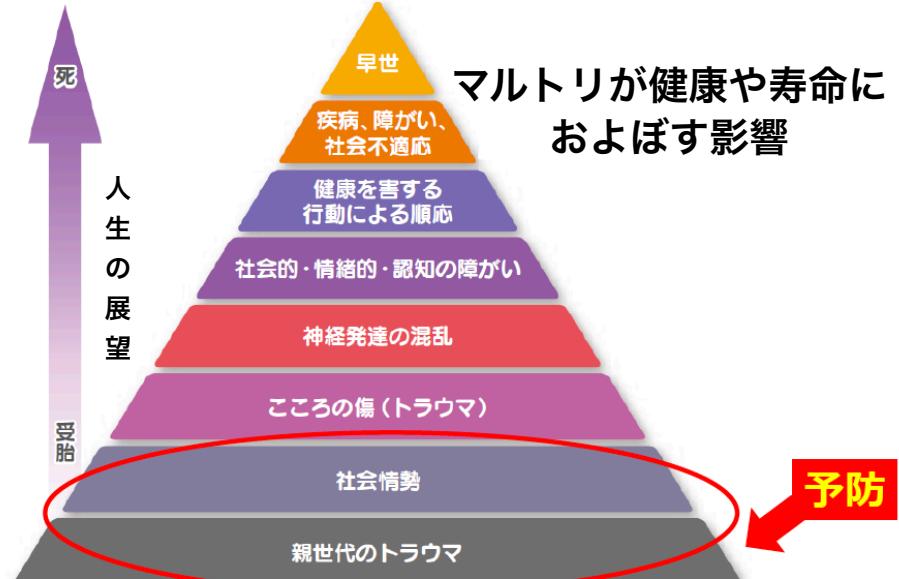
Kurata & Tomoda et al. *Sci Rep* 2024

マルトリ親の神経生物学的基盤と世代間連鎖との関連



Kurata & Tomoda et al. *Sci Rep* 2024

こころの傷と健康



CDC 米国疾病予防センター (2020)

トラウマ処理

- 持続エクスポージャー療法（長時間曝露療法）
- 認知処理療法・TF-CBT
- 簡易EMDR（眼球運動による脱感作と再処理法）
- ソマティック・エクスペリエンシング
- 自我状態療法
- TFT（思考場療法）



複雑性PTSDに対する簡易EMDRプロトコル



マルトリ予防士*育成講座（杉山登志郎）

複雑性PTSDに対する簡易EMDR治療効果検証

Triadic Therapy Based on Somatic Eye Movement Desensitization and Reprocessing for Complex Posttraumatic Stress Disorder: A Pilot Randomized Controlled Study

ランダム化比較試験
による検証

Keisuke Wakusawa

Department of Developmental Neuropsychiatry, Miyagi Children's Hospital, Sendai, Japan
Research Center for Child Mental Development, Hamamatsu University School of Medicine, Hamamatsu, Japan
Department of Advanced Brain Science, Institute of Development, Aging and Cancer, Tohoku University, Sendai, Japan

Toshiro Sugiyama

Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan

Hiroshi Hotta

Department of Psychiatry, Okinawa Rehabilitation Center Hospital, Okinawa, Japan

Kohei Wada

Department of Child Psychiatry, Mikawa Hospital, Okazaki, Japan

Futoshi Suzuki

Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan
Department of Child and Adolescent Psychiatry, Kamibayashi Memorial Hospital, Ichikawa, Japan

Takeshi Morimoto

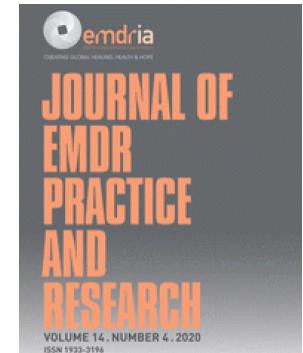
Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan

Tomoko Shiino

Graduate School of Human Science, Ritsumeikan University, Osaka, Japan

Akemi Tomoda

Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan



Wakusawa et al. *EMDR Pract Res* 2023

養育者(母親)の育児の孤立化=「孤育て」の増加

(地域SNS「ピアッザ」調査, 2023年12月)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

育児中の孤独
・孤立感

2023

74%

子育て中の母の約4人に3人が何らかの不安や孤独感を経験

子どもを預けられる
人がいない

2021

約60%

育児環境における「地域のつながり」が薄い（厚労省）

ワンオペ育児の
広がり

2022

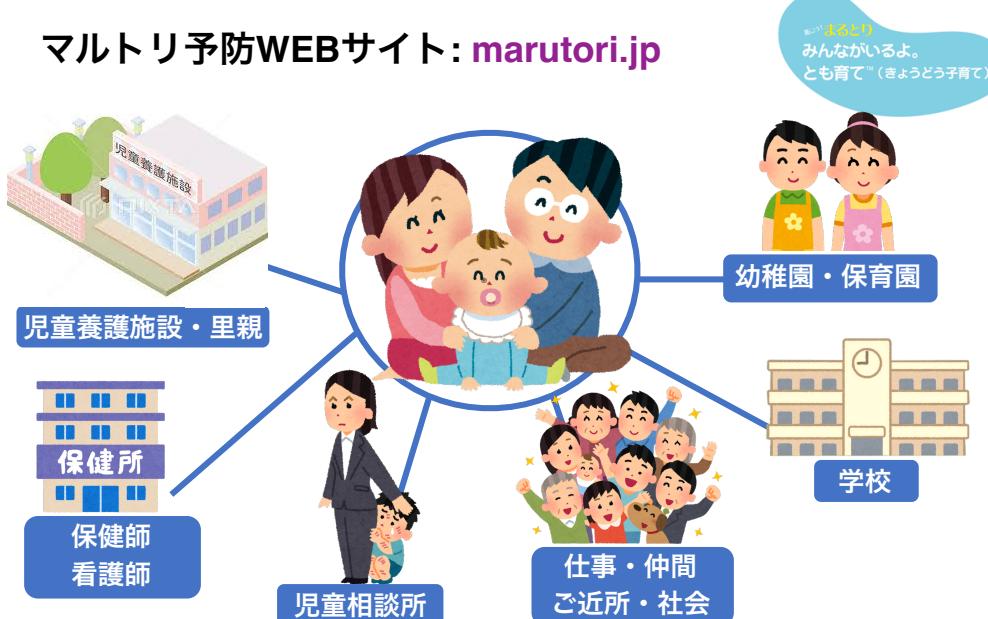
約60~72%

共働きでも育児を一人で担うケース多い（厚労省）

少子化・核家族化・地域のつながりの希薄化など、養育環境が変化する中で、子育てが孤立化し閉塞感が増加している

「マルトリ予防®」には「とも育て®」が必要

マルトリ予防WEBサイト: marutori.jp



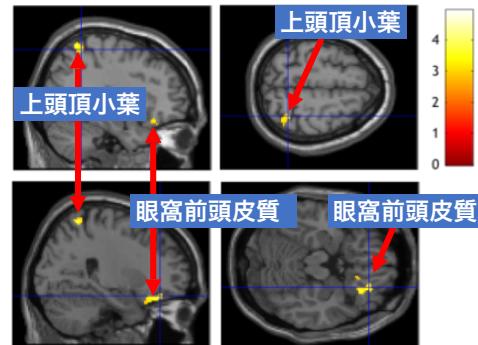
ペアレント・トレーニングによる育児ストレス軽減



とも育て®が子どもの脳に及ぼす影響

子ども (n=46, 8.3±1.3歳) の脳機能と **共同子育て**との関連は？

→ **共同養育者の数が多いほど、**
実行機能や情動制御に関わるネットワークが発達する可能性



共同養育者との係わりが豊かであった
子どもの脳部位



*p < 0.005 @ peak level, uncorrected
p < 0.05 @ cluster level, FWE-corrected*

Fujisawa & Tomoda et al. (in submission)



お子さんを叱るときは
60秒以内で！



長時間 叱ったからといって効力があるわけではない

長いと子どもは叱られていることに意識がいき、
内容は頭に入っていない

子どもを叱るときはポイントをしぶって
端的に親の意図を伝える

友田明美, SB新書『最新脳研究でわかった
子どもの脳を傷つける親がやっていること』

親がペアトレを受けると、脳の働きがアップ

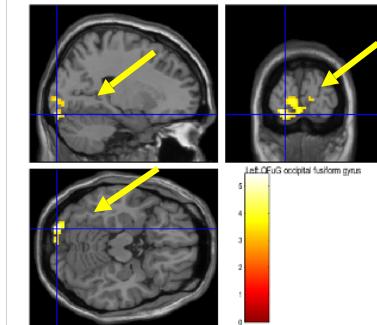
Brain Imaging and Behavior
https://doi.org/10.1007/s11682-023-00771-9

ORIGINAL RESEARCH



Neural and behavioral effects of parent training on emotion recognition in mothers rearing children with attention-deficit/hyperactivity disorder

Kai Makita^{1,2,3} · Akiko Yao^{1,2} · Koji Shimada^{1,2,4} · Ryoko Kasaba¹ · Takashi X. Fujisawa^{1,2} · Yoshifumi Mizuno^{1,5,6} · Akemi Tomoda^{1,2,6}



ペアトレ後に顔表情の感情処理や知覚に
関わる左後頭紡錘状回の活動が上昇

ペアトレにより親のストレスが軽減され、
脳活動が活性化した可能性

Makita et al. *Brain Imaging and Behavior* 2023

ペアトレの効果検証と費用対効果

プログラムの効果と費用対効果をランダム化比較試験による検証
A pragmatic randomised controlled trial of the effectiveness and cost-effectiveness of Well Parent Japan in routine care in Japan: The training and nurturing support for mothers (TRANSFORM) study



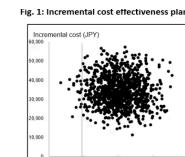
Shimabukuro S, Tomoda A et al. *J Child Psychol Psychiatry* 2024

6-12歳ADHD児の母親124名（ペアトレ群46名 vs. TAU群59名）

コスト分析：WPJ運営にかかるコスト = 31,143円

費用対効果分析：
WPJの育児ストレスを1ポイント減少させるために 6,707円

ICER = (Cost of WPJ - Cost of TAU) / (Effect of WPJ - Effect of TAU)



母親のウェルビーイング、子育てに対する自己効力感、
育児スキル、家族の緊張感が3か月後に改善

→ ADHD児の家族に質の高い支援を提供

親がペアトレを受けると、子の認知機能がアップ

frontiers | Frontiers in Psychiatry

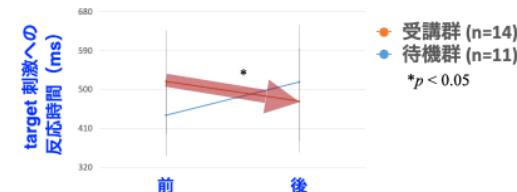


ORIGINAL RESEARCH
published: 27 April 2022
doi: 10.3389/fpsyg.2022.850249



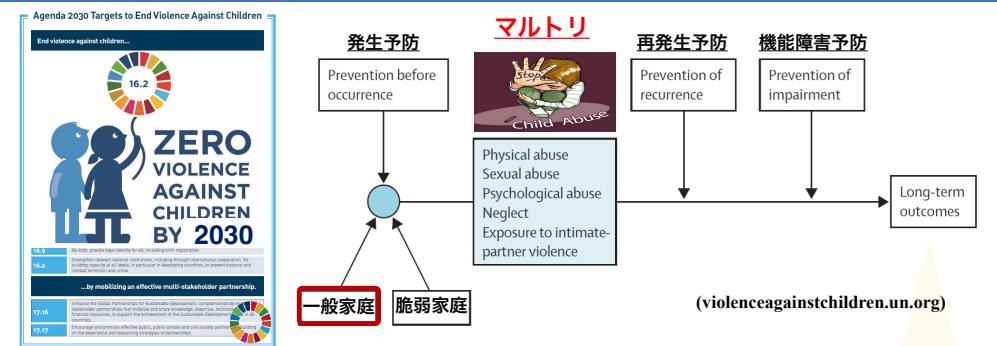
Beneficial Effects of Behavioral Parent Training on Inhibitory Control in Children With Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder: A Small-Scale Randomized Controlled Trial

Akiko Yao^{1,2}, Koji Shimada^{1,2,3*}, Ryoko Kasaba² and Akemi Tomoda^{1,2,4*}



Yao A et al. *Front Psych* 2022

マルトリ予防®に向けた社会教育活動の展開



▼ ACEs予防の普遍的なアプローチとして、社会教育活動を拡大中
まるとり マルトリメント
JST/RISTEX成果発表
(2018-20)



▼ ACEsの長期的な影響は多岐に亘り 分野横断的な予防的視点が必要
不安症 うつ病 癌 心疾患 糖尿病 呼吸器疾患
Anxiety Depression Cancer Cardiovascular disease Diabetes Respiratory disease
NORTH AMERICA



JST/RISTEX 社会実装

(2018-2020)

「子ども虐待の低減にむけた
養育者を支援する研修・啓発
資材の開発」

「マルトリ予防®」
と「とも育て®」
ってなんだろう?
—脳科学から育むミライ



マルトリ予防® WEBサイト

marutori.jp

マルトリ ドット ジェイピー



↑ このQRコードでアクセス可

マルトリ予防® WEBサイト

marutori.jp

マルトリ ドット ジェイピー

「養育者支援によって子どもの虐待を低減する
システム」の構築プロジェクト

RISTEX
社会技術研究開発センター
Research Institute of Science and Technology in Society

マルトリートメント(マルトリ)が 脳に与える影響



↑ このQRコードでアクセス可

福井大学モデル 「マルトリ予防」 全国普及展開

国立大学法人
福井大学

一般社団法人 日本家族計画協会

JAPAN FAMILY PLANNING ASSOCIATION

marutori.jp
「マルトリ予防」
Web会員登録
(無料)

特典

- ・各教材を無料
ダウンロード可
- ・研修案内
- ・最新情報案内

会員登録サイト

ログイン

新規会員登録



マルトリ（虐待）低減には北風より太陽の養育者支援が良い！

マルトリ・とも育ての概念普及



支援の原則

深刻なマルトリケースは社会から孤立し、介入を拒むケースが多い。そういうケースへの支援はどうすべきか？



- ♥ 拒否＝防衛反応として理解する
- ♥ 関係を切らさないこと自体が介入
- ♥ 多職種・多層ネットワークで支える
- ♥ 支援者も孤立しない仕組み

Take Home Messages

子ども時代のつらい体験（逆境経験）

♥ ソフトではなくハードが傷つく

令和8年度から
福井大学子どもセンター
「マルトリ予防学 研究部門」設立
親が子どもをマルトリする
社会のシステムを
変える!

– 強いストレスやつらい経験が長く続くと、考えたり感じたりする脳の表面（大脳新皮質）だけでなく、「感情」や「記憶」をつかさどる脳の深い部分（海馬や扁桃体）にも影響が出る

– PTSD（心の傷の反応）で見られる感情の麻痺、解離、フラッシュバックなどの症状は、こうした脳の働きの変化と関係している



– 子どもの脳は回復する！

「孤育て」から「とも育て®」への転換において『家族支援』の重要性

PIVOTチャンネルのご紹介

前半



後半



【成功体験を効果的に伝える簡単テク】ドーバーミン×オキシトシンで子どもがドヤ顔に／親の育児ストレスは子どもの脳を傷つける／ペアレントトレーニングで脳が回復【教育新常識】

アスク セレクション 4



監修
友田明美
廣中直行

R6年9月刊行



NHK出版 2017

子どもの脳を傷つける親たち

友田明美 Tomoda Akemi

子どもの前での夫婦げんか、心ない言葉スマホ・ネグレクトに、きょうだい間の差別……
不適切なかかわりが、子どもの脳を変形させる

12万部突破!!

「プロフェッショナル 仕事の流儀」
「世界一受けたい授業」ほか、あらゆるメディアで大反響

親の脳も傷ついていた!
マルトリートメント(不適切な養育)の連鎖を断つ「ポジティブ脳」とは?
—トラウマ治療の権威・杉山登志郎医師との対談収載—

12万部突破 「子どもの脳を傷つける親たち」待望の第2弾!

友田明美 Tomoda Akemi

NHK出版 2019

治療手技参考 Web動画

子どもの トラウマ治療

傷ついた脳を回復する

編集 友田 明美
福井大学子どものこころの発達研究センター教授
友田 明美
福井大学子どものこころの発達研究センター客員教授
杉山 登志郎
福井大学子どものこころの発達研究センター客員教授

不登校、いじめ、虐待、「死にたい」と願う子ども

平成は発達障害、令和はトラウマの時代

傷ついたこころと脳が回復し、トラウマが癒える道のりを丁寧にたどる

診断と治療社

編集

福井大学子どものこころの発達研究センター教授
友田 明美

福井大学子どものこころの発達研究センター客員教授
杉山 登志郎

2025年4月発行 診断と治療社刊